

首都圏中央連絡自動車道 - 緑化したのり面の追跡調査をしています -

圏央道では、地域性苗木による緑化を先進的に取り組んできました。この取り組みを今後にかす基礎資料とするために、追跡調査をしています。植えた地域性苗木が順調に成長し、少しずつ自然が回復しつつあることが分かってきました。また植物だけでなく、周囲の森から様々な動物もやってきていることが分かってきました。
(地域性苗木とは、その地域に自然分布して生育している種(在来種)の樹木の種子から育成した苗木のことです。)



緑化したのり面の調査風景 樹木調査、植物相調査、土壌動物調査等を実施しています



林内の様子



地域性苗木(ミツバツツジ)も花を咲かせています



アカマツの実生 植えた苗木以外にも、周囲の森から飛んできて自然に初芽した実生がたくさん見られます

バードオアシス ▶

のり面の途中には、動物のために水たまりを作っています。

夜間自動撮影カメラを設置したところ、様々な動物が利用していることがわかりました。



水を飲みに来たイノシシの親子



水を飲みに来たコウモリ

八王子JCTの変遷



施工中の状況(2000年)



約9年後の状況(2009年)

お問い合わせ先：中日本高速道路株式会社 東京支社 八王子工事事務所
TEL：042-645-7511